

いで 議会だより

第 89 号

2024年（令和 6 年）

10 月発行



丹波自然運動公園で開催された
京都府消防操法大会

参加支部：第1分団第3部(石垣区)

【特集】令和5年度決算 … 2 P
9月定例会で決まった主なこと … 6 P
【特集】こども議会 …… 8 P
町政を問う …… 10 P
研修報告 …… 19 P
いでたんが聞く …… 20 P

令和 5 年度
決算



いでたんが
わかりやすく解説します！

井手町のお金

前年度に引き続き
全ての会計で黒字に

(千円 四捨五入)

入ってきた**お金**
79億 5045万円

※1

一般会計

使った**お金**
73億 8897万円

皆さまからの**お金** (自主財源)

住民の皆さまや町内に
事務所などをもつ法人
などから井手町に収め
ていただいた税金

一般会計、特別会計お
よび基金の間で、相互
に資金運用をするお金

前年度の決算上、
余ったお金

その他で得たお金

国や府からの**お金** (依存財源)

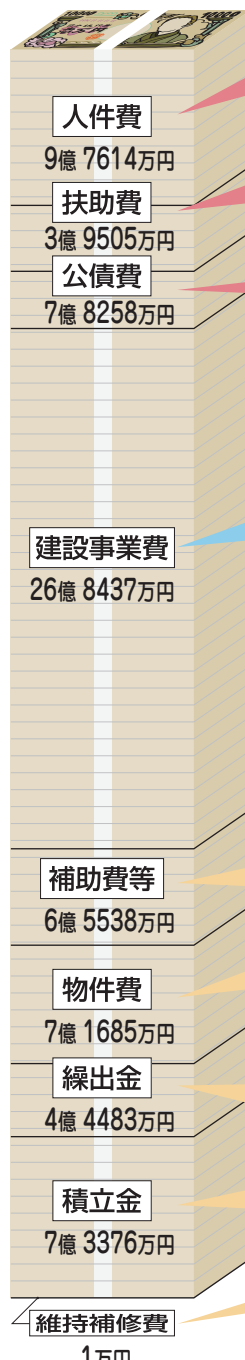
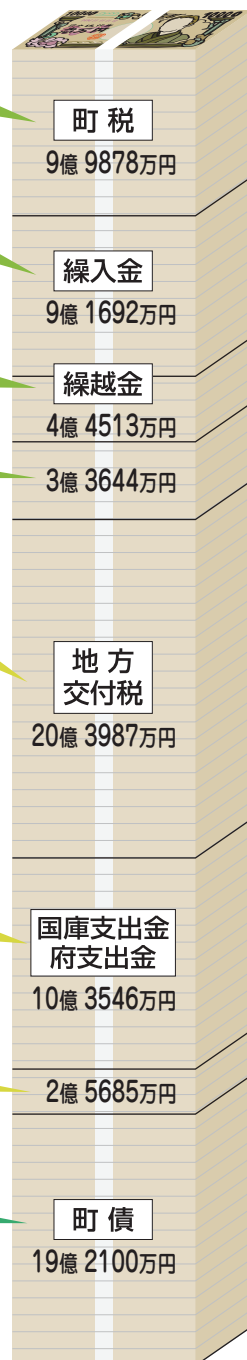
国が徴収する税金の中から
町の財政需要などに応じて
交付されるお金

国・府からの
補助金や負担金

その他交付金等

借金

政府や銀行などからの借入金



職員や特別職の給与、議員、
各種委員会委員の報酬など

障がい者自立支援給付費、
児童手当、医療費助成など
社会保障関係のお金

町が借り入れたお金の返済金

道路や学校、大規模修繕費など
町の資産の形成や災害復旧に使
われるお金

町から地方公共団体や民間に
対して公益上必要な場合に支
払われる負担金や補助金

人件費に計上されない賃金、
旅費、交際費、消耗品や備品
購入費など消費的性質のお金

一般会計と特別会計相互間
において資金運用するためのお金

特定の目的のために財産を
維持し、又は資金を積み立
てるお金

道路、公共施設などを維持
補修するためのお金

義務的経費

投資的経費

その他の経費

【特集】決算

決算 (質疑・討論)

9月定例会

【特集】こども議会

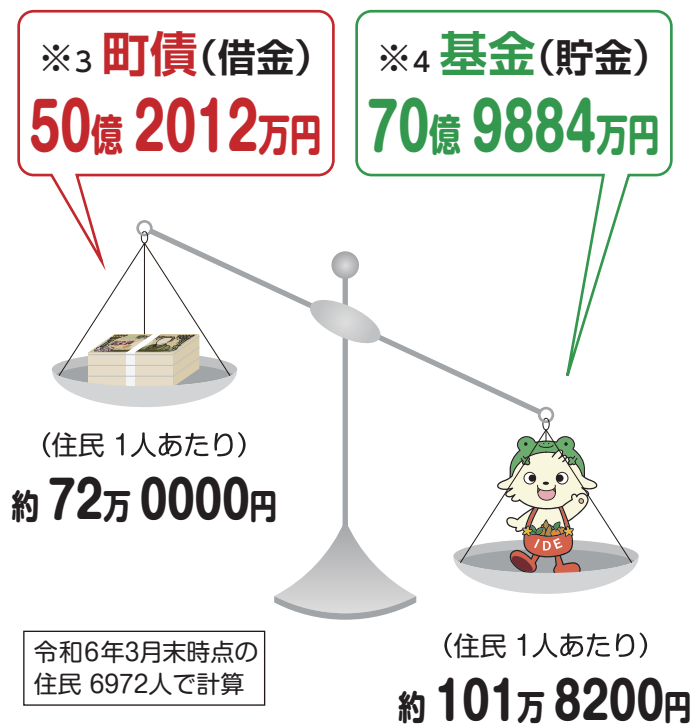
町政を問う

研修報告

いでたんが聞く

井手町の 借金と貯金

（一般会計）



いでたんの 用語解説

※1 一般会計

公共事業・福祉・教育など、通常の行政サービスの提供をはじめとする、行政運営の基本的な経費を経理する会計。

※2 特別会計

特定の事業を行う場合に、一般会計とは別に設けられ、独立して経理が行われる会計。

※3 町債(借金)

公共施設の整備や、一時的に多額の経費が必要となる災害復旧などの財源として資金調達した長期の債務、つまり借金のこと。

※4 基金(貯金)

特定の目的のために準備された資金、つまり貯金のこと。

専用のお金

※2 特別会計

国民健康保険のお金

- 入 8億 8725万円
- 出 8億 2998万円

介護保険のお金

- 入 9億 6000万円
- 出 9億 2697万円

他に 多賀財産区特別会計

井手町水道事業会計（企業会計）があります

多賀地区簡易水道のお金

- 入 7334万円
- 出 5403万円

後期高齢者医療のお金

- 入 1億 4009万円
- 出 1億 3628万円

公共下水道のお金

- 入 4億 3212万円
- 出 4億 474万円

決算特別委員会 主な質疑

決算特別委員会で各委員が質疑した内容と行政側の回答は次の通りです。

Q 今後公用車の購入に、電気自動車やハイブリット車への乗り換えを検討しているのか。

A 購入費用や充電施設の数、環境面などメリット・デメリットがあるので、業務内容を考慮し検討していく。

Q 井手応援隊活動拠点運営事業の活動状況は。

A 京都産業大学井手応援隊と連携して、むすびやカフェ・寺子屋の学習・レクリエーションなどを行った。

Q 空き家再生支援の状況は。

A 空き家バンクは、新規登録が7件、前年度までの登録物件を含む10件の契約が成立。

Q 交通安全施設整備事業の状況は。

A 交通安全灯の設置は10か所で、設置場所は、水無区1か所、上井手区1か所、石垣区2か所、北区2か所、南区2か所、東部区1か所、南部区1か所。

Q 障がい者自立支援事業費の主な費用は。

A 障がいのある方が利用する通所・入所など福祉サービスや、義肢・車椅子といった補装具の費用。

Q 高齢者移動支援実証運行補助事業の内容は。

A 登録者数は210人で、車両台数は4台、運転手は専任が1名と、社協の運転資格をもつ方が補助を行っている。

Q 特別児童福祉手当の申請者は何世帯・何人になったか。

A 57世帯、81名。

Q 有害鳥獣駆除事業の内容は。

A イノシシ・サル・シカ等の被害対策として、希望する農業者に防護柵を支援し、電動ガン52丁を配布。



追払いに有効な電動ガン

Q さくらまつりのLEDを、何基増設したのか。

A 玉川沿いに、40基。

Q テオテラスいでスタートアップ事業の詳細は。

A カフェの食器類、消耗品等の購入・ポスター・看板・自転車ラックなどの費用。



オープン1周年となるテオテラスいで

Q 宅地開発検討事業費の内容は。

A ハウスメーカーや不動産業者への聞き取りや、町内事業所の従業員へアンケート

ト調査によって、数箇所の候補地を選定。都市計画マスタープランの改定業務において、更に検討を進める。

Q 英検チャレンジ推進事業の申請状況や結果は。

A 中学生125名に補助を行い、2級に1名、準2級に17名、3級に25名、4級に33名が合格。英語力の向上を図ることができている。

Q 地域スポーツ活動事業の実施状況は。

A 輪投げ大会・小学校の体力テスト・サロン等への出前指導を行い、住民の健康への意識づくり等を行っている。

決算特別委員会報告

3件の決算を全て認定

委員長 脇 本 尚 憲

9月11日の9月定例会において、議会議選出の監査委員を除く、9名の委員をもって構成する決算特別委員会が設置され、議案第44号から議案第46号までの3件の決算認定の件が付託されました。

令和5年度井手町水道事業会計決算認定の件、令和5年度井手町多賀財産区特別会計歳入歳出決算認定の件については、**賛成多数**で認定されました。

決算審査では、一般会計の歳出の部から、各款別に質疑を行った後、歳入の部の質疑を行い、次に特別会計については、各会計別に歳入歳出全般にわたって質疑を行い、最後に総括質疑を行いました。

賛 成 討 論

新町長を中心に職員が一丸となって努力されている
谷 田 利 一 議員

令和5年度の決算においても、健全な行財政運営のもと、新庁舎建設等、各種事業を着実に前進できたと高く評価する。

一般会計の歳入については、企業誘致、町税の徴収努力、国や府の力強い支援など、歳入確保に努力されている。

歳出では、総務関係では、防災拠点の強化・充実、空き家活用促進調査や安心・安全のための交通対策事業が実施されている。

民生関係では、子育て支援や高齢者移動支援実証運行補助、衛生関係では、各種検診事業。農林関係では、有害鳥獣駆除や森林整備事業などが実施されている。

商工関係では、特産品開発推進事業、土木関係では、充実した暮らしの周辺整備事業が実施されている。

消防関係では、災害時情報伝達手段整備や新庁舎への防災システム等移転業務などが実施されている。

教育関係では、学校のトイレ改修や山吹ふれあいセンター建設事業など、教育環境の充実に積極的に取り組まれている。

一般会計は賛成多数で認定

反 対 討 論

住民の福祉増進のため本来の責務を
谷 田 健 治 議員

一般会計では、南海トラフ地震への備えを行うこと。防災無線の有効活用や、防災情報を確実に伝えるため、各戸への戸別受信機の設置を求める。中学校の体育館にも早急に空調設備を設置することを求める。

国民健康保険会計では、基金は1億円を超える。これだけの基金があれば、国保税の引き下げは可能。未就学児の均等割りをゼロに、収入が激減した世帯には国保税減免の制度を設けるよう強く求める。

後期高齢者医療特別会計では、後期高齢者は他の世代と比べ「高い医療費」「低い収入」という生活実態である。有病率も高いのに、窓口負担が2倍になり、受診控えや重症化を招きかねない。

介護保険会計では、高い介護保険料が高齢者を苦しめている。年金制度の改悪により年金が上がり、物価高騰により生活が、益々苦しくなっている。介護保険制度は真に必要な介護を社会的に保証する制度となっていない。



改修された泉ヶ丘中学校のトイレ



庁舎に整備された同報系行政防災無線

9月定例会で決まった主なこと

がん患者アピランスケア支援事業を開始

将来の公債費の抑制を図るため

民間等資金繰上償還元金を計上

9月9日から25日まで9月定例会が開かれ、補正予算などを審議しました。

改正した条例

令和6年度 補正予算

●国民健康保険条例の

一部を改正する条例

番号法等の一部改正法に伴う条文の整備です。

●一般会計（第2回）

5億7428万3000

円を追加し、補正後の総

額は、52億3431万3

000円です。

●がん患者アピランス

ケア支援事業

29万円

医療用ウィッグや乳房

補正具の購入費用の一部

を助成。

主な内容

正する条例

子ども・子育て支援法

の一部改正に伴う条文の整備です。

●民間等資金

繰上償還元金

5億1480万円

令和4年度に新庁舎建

設事業の財源として借入

した地方債を繰上償還し、

●妊婦歯科健診

13万円

町内の歯科医療機関に

おいて、問診や口腔内検

査などの妊婦歯科健診を

実施。

●公民館改修補助

154万円

南部区と東部区の公民

館改修に対して補助。

●食の京都TABLE

整備支援事業

408万8000円

京都やましろ農業協同

組合井手町支店が設置し

ている「なごやか市」の

イートインスペース開設

等の改修事業に補助。

●社会福祉基金積立金

80万円

町の社会福祉施策に役

立ててほしいといただい

た寄附を基金に積み立て

るもの。

●ふるさと応援基金

積立金

114万7000円

まちづくりに役立てて

ほしいといただいた寄附

を基金に積み立てるもの。

●消防団員退職報償金

608万4000円

退職された消防団員に

支給するもの。（対象者・

13名）

●各種児童手当

1268万7000円

児童手当制度の拡充に

より、対象者となる方に

遅滞なく給付を行うもの。

同意案件

●井手町固定資産

評価審査委員

藤林 学氏



イートインスペースが開設される「なごやか市」



改修される南部公民館

意見書

再審法改正に向けた

速やかな議論を求める意見書

全員賛成で可決

提案者 岡田久雄 議員

えん罪は、国家による最大の人権侵害の一つである。しかしながら、人の運用する制度である以上、ときに誤判が生じるおそれとは拭ききれず、誤判により生じたえん罪の被害者は迅速に救済されなければならない。

えん罪被害者を救済する再審制度については、刑事訴訟法に規定が設けられているが、再審が認められることは稀であり、救済は容易に進んでいない。

要因として再審請求手続きに関する詳細な規定が存在しないため、個々の裁判体の裁量があまりにも大きいことが指摘されている。また、①再審請求手続きにおいて証拠開示規定が存在しない。②再審開始決定に対する

る検察官の不服申し立てにより審理が極めて長期化する。③再審請求手続きにおける手続き規定が整備されておらず、請求人の手続保障が十分になされていないことの3点が特に重要課題として挙げられる。

近年の報道により、再審やえん罪被害者に対する社会の関心が高まり、日本弁護士連合会などから再審法の問題点も指摘され、地方議会でも再審法改正を求める意見書が採択されている。については、国におかれては、えん罪被害者を迅速に救済するため、再審法改正に向けた議論を速やかに行うよう強く求める。

令和6年9月定例会 議案・議決結果一覧表

審議結果等は次の通りです。(○=賛成 ×=反対 —=欠席または退席) *奥田俊夫議長は、採決に加わっておりません。

議案番号	件名	議決年月日	議決の結果	議 員 名							
				木村健太	谷田健治	鎌田隆宏	小割直彦	田中保美	脇本尚憲	谷田利一	岡田久雄
議案第38号	国民健康保険条例の一部を改正する条例制定の件	令和6年9月11日	原案可決	○	×	○	○	○	○	○	○
議案第39号	井手町子ども未来づくり会議条例の一部を改正する条例制定の件	令和6年9月11日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第40号	令和6年度井手町一般会計補正予算(第2回)	令和6年9月9日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第41号	令和6年度井手町介護保険特別会計補正予算(第1回)	令和6年9月9日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第42号	令和6年度井手町下水道事業会計補正予算(第2回)	令和6年9月9日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第43号	井手町固定資産評価審査委員選任につき同意を求める件	令和6年9月9日	同 意	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第44号	令和5年度井手町一般会計、特別会計「国民健康保険、多賀地区簡易水道、後期高齢者医療、介護保険、公共下水道」歳入歳出決算認定の件	令和6年9月25日	認 定	○	×	○	○	○	○	○	○
議案第45号	令和5年度井手町水道事業会計決算認定の件	令和6年9月25日	認 定	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第46号	令和5年度井手町多賀財産区特別会計歳入歳出決算認定の件	令和6年9月25日	認 定	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和5年度城南土地開発公社決算に関する報告書について	令和6年9月25日	報 告								
発議第3号	再審法改正に向けた速やかな議論を求める意見書	令和6年9月25日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○

特集

こども議会開催

議会議場にて開催されたこども議会の様子です



にしじま れお
西島 玲生 議員

発表項目

I LOVE IDETOWN
(アイラヴィデタウン)



おおにし ゆいと
大西 唯翔 議員

発表項目

飲食店を作り、井手町を
活気あるまちに



ひがしむら ひろき
東村 洋希 議員

発表項目

井手町の魅力を沢山の
人に知ってもらう
為には



たかだ つばさ
高田 翼 議員

発表項目

公園の遊具を増やして
魅力的なまちに



講評する町議会議員



多数の方が傍聴されました

議会活性化特別委員会報告

「令和6年度 井手町こども議会」開催

委員長 谷田 利一

昨年度に引き続き、こども議会を8月30日に開催しました。

町内小・中学校、支援学校から各2名、合計8名の児童・生徒を議員として迎え、それぞれ本町に対する思いを発表していただきました。こども議員の皆さん方の視点はとても素直で、町内のことをよく観察されており、本町の「魅力あるまちづくり」に対して、熱い意見を聞くことができました。発表のあとは、町議会議員が講評し、今回は再質問も行いました。

また、今年度は同級生のお友達や保護者の方など、多数の方が傍聴され、議会活動や町政への関心がより広がったのではないかと感じました。

参加していただいた児童・生徒の皆さん、ありがとうございました。今後もこの取組を続けていければと思います。



たかぎ
高木 すばる 議員

発表項目

また来たくなる満足度
100%の井手町



ひぐち がく
樋口 楽 議員

発表項目

愛される井手町を
目指して



はまち りょうま
濱千代 良磨 議員

発表項目

井手町を居心地の
良い町に



わきもと みずき
脇本 瑞季 議員

発表項目

みんなに知ってほしい
大好きな井手町



参加してくれたこどもたちと教育長、議員との集合写真

町政を問う

た なか やす み
田 中 保 美 議員 (11P)

- ◆ 子どもの任意予防接種の費用助成制度導入
- ◆ 「府道上狛城陽線」における交通安全対策

た に だ けん じ
谷 田 健 治 議員 (12P)

- ◆ 南海トラフ地震発生に備えた防災対応
- ◆ 同報系防災無線の有効運用
- ◆ 社会福祉協議会が運行している「IDECA」と「あいか」の運用

た に だ とし かず
谷 田 利 一 議員 (13P)

- ◆ 自治会活動のデジタル化
- ◆ ワンストップ窓口の設置

こ わり なお ひこ
小 割 直 彦 議員 (14P)

- ◆ 食品ロス削減のための対策

おか た ひさ お
岡 田 久 雄 議員 (15P)

- ◆ 誰もが投票しやすい環境づくり
- ◆ 認知症を発症しても安心して暮らせる社会づくり

わ き もと たか のり
脇 本 尚 憲 議員 (16P)

- ◆ 終活サポートの取組状況
- ◆ 「南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）」を受けて

き むら けん た
木 村 健 太 議員 (17P)

- ◆ 井手町に「総合運動公園」の整備を
- ◆ 玉川の除草

かま た たか ひろ
鎌 田 隆 宏 議員 (18P)

- ◆ 災害時のライフライン

井手町
ホームページ
会議録集
QRコード



令和6年12月定例会の
日程はホームページ等で
ご確認ください。